

お客様事例: Makkah Region Development Authority (MRDA)

MRDA がメッカ巡礼の安全性とセキュリティを向上

お客様 : Makkah Region Development Authority (MRDA)

業種 : 公共機関

課題

- メッカ巡礼で世界で最も混雑する地下鉄路線の過密状況の緩和
- 巡礼者の安全性とセキュリティの強化
- 従業員の管理

ソリューション

- イベントを監視し、リアルタイムのデータおよびアナリティクスを提供する 24x7 体制の群衆管理統括センター
- 英語およびアラビア語をサポートするマルチユーザーテクノロジーシステム
- 従業員の総合的なトレーニング

成果

- 世界最高水準の安全性、セキュリティ、群衆管理システム
- ハッジ (大巡礼) およびウムラ (小巡礼) 巡礼者にエンドツーエンドのエクスペリエンスを提供するモバイルアプリケーション
- 2,300 万箇所のデータポイントからデータを収集、分析し、実用的な情報を提供するシステム

MRDAによるメッカ巡礼の安全性とセキュリティの向上

ハッジ (イスラム暦の 12 月に行われる巡礼) の 5 日間で、200 万人近くの巡礼者がイスラムの聖地を訪れます。ハッジ巡礼期間のみ運行される地下鉄、Al Mashaaer Al Mugaddassah Metro Southern Line (MMMSL) は、マスジッドアルハラーム、アラファト山、ジャマラート、ミナなどの聖地間で、ピーク時には 1 時間で 72,000 人もの乗客を運びます。サウジアラビアの Makkah Region Development Authority (MRDA) が直面した課題は、群集を障害なく継続的に移動させ、彼らの安全とセキュリティを強化し、各駅およびプラットフォームで輸送を監督する 7,500 人の従業員を監視することでした。

MRDA が DXC Technology に依頼したのは、「スマートクラウド (smart crowd)」ソリューション (世界最高水準の巡礼者の安全性とセキュリティ実現のためのシステム) の構築です。この大規模で広範囲にわたる課題には、革新的なアプローチに基づく先進的な計画が求められました。回避策の選択や迅速な緊急対応の実施には、リアルタイムの情報が極めて重要でした。

群集管理

DXC は、巡礼者輸送システム、およびスタッフ管理システムをサポートするために、英語とアラビア語による 2 か国語対応のアプリケーションを含む、マルチユーザーテクノロジーソリューションを設計および実装しました。DXC は、イベントを監視し、リアルタイムデータのアナリティクスに基づく最新情報を、MRDA およびそのスタッフに提供する、24x7 体制の群集管理統括センターを設立しました。また、DXC はきめ細かいトレーニングも提供しています。

MRDA は、巡礼期間中、数千人の公務員、警備員、および医療専門家を配備して、群集管理を強化する一方、地下鉄システムを使用して車両および巡礼者の安全な輸送を管理する職員も雇用しました。

2 か国語対応のスタッフ管理および巡礼者輸送アプリケーションシステムを構築した主な目的は、次のとおりです。

- ハッジ関連の駅員の出勤状況と所在地を把握する
- ハッジのグループリーダーの所在地を追跡する
- 駅員およびグループリーダーに、出退勤 (労働時間の記録)、列車のダイヤ、スタッフの勤務表、およびメッセージの送受信などの主要な機能を提供する
- 医療、火災、浸水、脱線、またはその他の緊急事態において、第一応答者への通報を可能にする
- スタッフ、スーパーバイザー、群集管理統括センター、および駅管理センターの間のやり取りを容易にする
- 地下鉄の駅における様々な作業を担当する、地域および海外の請負業者によって提供されるスタッフ配置の精度を改善し、雇用された運営スタッフの人数を管理する

「この世界中から人々が集まる聖地巡礼を円滑にすることは、重要な義務および名誉でした。テクノロジーは進化しています。我々が採用する新しいシステムはそこにあります。」と Abdelmoula Benabida 氏 (Al Mashaaer 地下鉄プロジェクトの管理チームのトップ) は言います。「昨年は、ハッジで訪れた 180 万人の巡礼者のうち、34 万人の効率的な輸送を可能にするテクノロジーを実装したことにより、安全性が向上しました。

群集管理統括センター、高度なアナリティクス、およびモバイルアプリケーションを使用することで、MRDA の管理者は初めて、移動スケジュール、およびスタッフ配置を簡単に追跡し、クリティカルな変化やインシデントの発生時にタイムリーに通知を送ることができました。」と述べています。

将来的な機能

DXC が設計したこのシステムは、柔軟性および拡張性があります。新たに強化される機能では、地上通信を促進し、メッカの巡礼地間の連携を促すことで、MRDA が計画する次の 10 年のニーズに対応します。テクノロジー非依存のアプローチによるグローバルな経験を積み重ねる DXC は、様々な業界における数百もの事例からベストプラクティスを構築し、シームレスな最新のソリューションを提供しています。

DXC 独自の専門知識は、先進のテクノロジー、科学、および実績あるプロセスの画期的な組み合わせにより、安全性とセキュリティを向上しつつ、世界中の群衆管理のニーズに適用することができます。

Maruf Majed 氏 (DXC のアジア、中東、アフリカ (AMEA) 地域のバイスプレジデント兼ゼネラルマネージャー) は、「ソリューション思考の考え方、および革新的なテクノロジーを適用して従来のエクスペリエンスを高めるには、微妙なバランスが必要です。当社は、MRDA とパートナー関係になり、クラウド、ビッグデータインテリジェンス、およびアナリティクスのメリットを提供することで、数百万人の巡礼者によるメッカ訪問の安全性向上に貢献できたことを誇りに思います。マレーシア、シンガポール、サウジアラビア、および UAE [アラブ首長国連邦] の DXC チームは、8 週間の間、24 時間体制で活動し、インフラストラクチャのセットアップの初期段階から、システム実装、引き渡しを含め、この注目度の高いプロジェクトを完了しました。」と述べています。

DXC はそれ以来、iOS および Android 用に「iHajj」と呼ばれるモバイルアプリケーションを提供しています。主な機能には、詳細スケジュール、聖クルアーン、祈りのタイミング、カアバの方角、巡礼の旅のトラッカー、家族および友人からのドウア (嘆願) の依頼の受け取り、および近くのアクティビティを探すのに役立つ拡張現実 (AR) が含まれます。

DXC Technology について

DXC Technology は、世界トップレベルの事業変革企業として、イノベーションを通じたお客様の変革と成長をサポートいたします。CSC と HPE のエンタープライズサービス部門の合併により誕生した DXC は、その技術的な独立性、グローバルな人材力、幅広いパートナーネットワークを基盤として、民間・公共セクターを含む世界 70 カ国 6,000 近くのお客様に強力な次世代 IT サービス & ソリューションを提供しております。DXC Technology は、世界的に優良な企業として認められています。詳細については、<http://www.dxc.technology> をご覧ください。日本における DXC Technology についての詳細は、<http://www.dxc.technology/jp> をご覧ください。